

イオン北海道 株式会社(北海道)

ご登壇者

商品本部 食品商品部
農産 バイヤーマネージャー
かわぐち たかお

川口 孝夫

持続可能な農産物の販売を通じて
北海道・日本・世界を発展・成長させていくこと
品目：玉ねぎ・じゃがいも（露地）



アジェンダ

- ・自己紹介 質問事項 回答
- ・①見える化商品を取り扱ったきっかけ
- ・②見える化を知ったときに感じたこと、感想
- ・③見える化の取組内容（特徴・工夫）
- ・④販売にあたって、取引先との交渉や店舗掲示等の難しかったこと
- ・⑤見える化に取り組んで良かったこと
- ・⑥消費者の反応
- ・⑦見える化を含む環境負荷低減に向けた今後の自社の取組について
- ・まとめ



①見える化商品を取り扱ったきっかけ

見える化 取組

AEON



ホクレン



サステナブルたまねぎ

▼2024年12月販売開始

▼特別栽培農産物(農薬・化学肥料の使用量が慣行基準の1/2以下)

▼産地での環境に配慮した取組や、安定供給に向けた取組を通じて、玉ねぎの生産・流通を実践



サステナブルじゃがいも

(ゆめいころ)

▼2025年9月販売開始

▼特別栽培農産物(農薬・化学肥料の使用量が慣行基準の1/2以下)

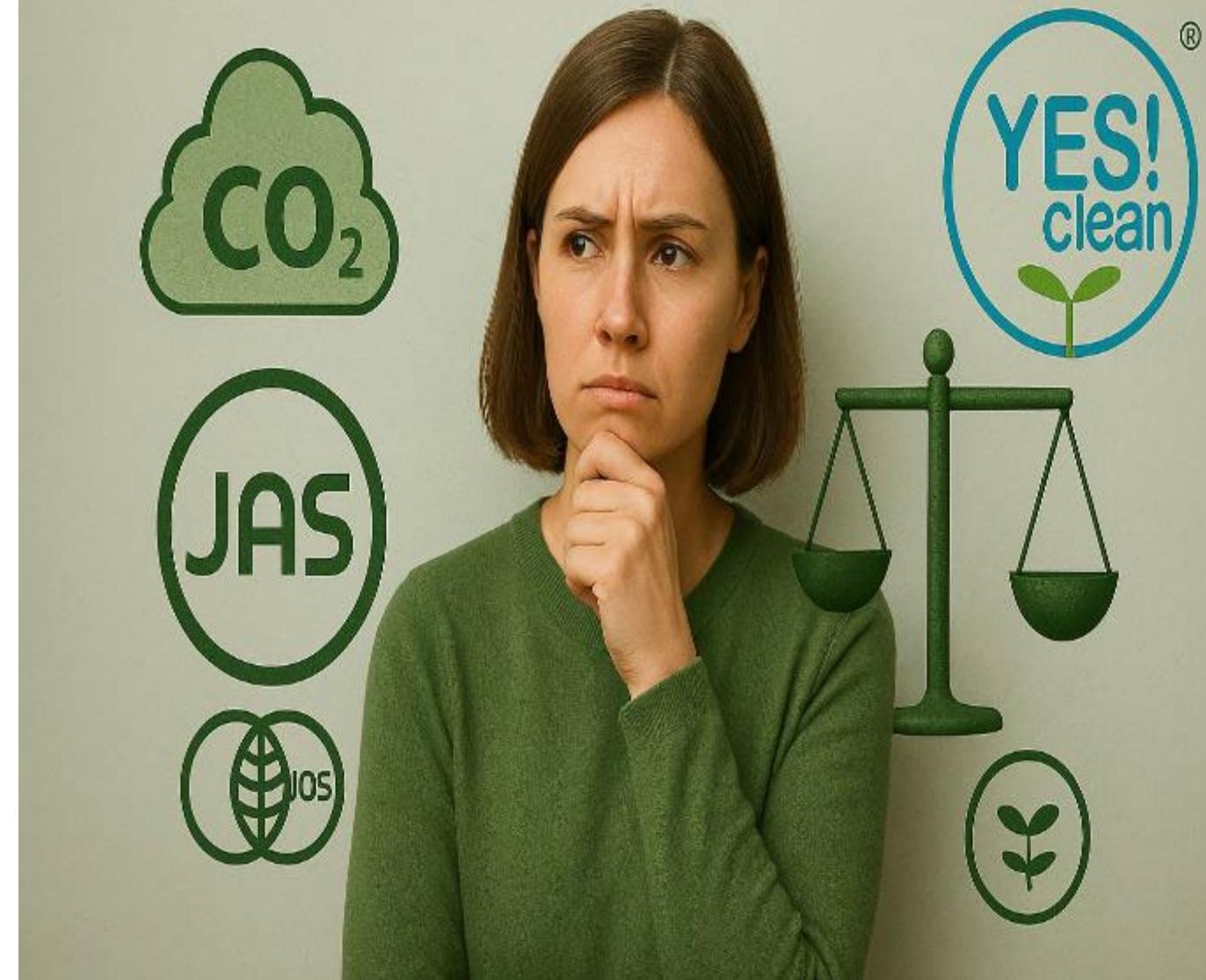
▼産地での環境に配慮した取組に加え、シスト抵抗性品種「ゆめいころ」を使用し持続可能な生産を応援



②見える化を 知ったときに感 じたこと、感想



見える化を知ったときの感想



③見える化の取組内容 (特徴・工夫)



AEON

ホクレン

北海道から、
サステナブルを選ぼう!

えらぼう[®]
未来につながる今を

毎月繰り返す!
注目商品から取り寄せた
「日」の東洋まつりからアツアツ
イオン道産デー

サステナブル
たまねぎ
サステナブル
じゃがいも

「ゆめいころのポテトサラダ」 デリカ・農産コラボ



④販売にあたって 取引先との交渉や 店舗掲示等 難しかったこと

見える化 取組



⑤見える化に取り組んで良かったこと



研修会やメディアで注目される取組



⑥消費者の反応



⑦見える化を含む 環境負荷低減に 向けた今後の自社 の取組について



まとめ ありたい姿
あらゆる農産物に
かかわることが
出来る「八百屋」

